

# わくわくわさか



わさかー二

## まちづくりニュース 第17号

発行日 2020.7.10 発行 和坂校区まちづくり協議会 和坂小学校区コミュニティ・センター内 明石市和坂2-12-1 TEL・FAX 928-6033

### 2020年度のスタート

会長 岩崎 恵年



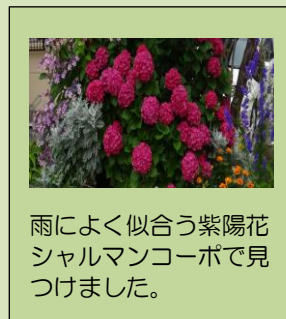
コロナウイルス感染拡大の問題で「2020年度和坂校区まちづくり協議会」総会は書面決議に変わりました。総会の案件は、全て承認され、いよいよ新年度のスタートです。私は、今年度の総会役員改選で、茶谷紀元会長の後任として就任いたしました旭が丘の岩崎恵年(いわさきしげとし)と申します。何分にも浅学菲才の身であり、皆様方の期待に沿えるかどうか自信はありませんが、「まち協」役員の皆様や校区内で活動されている皆様のご協力を得ながら全力でまち協運営に取り組んでまいりますので、どうかご支援・ご指導をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

さて、「まち協」の運営についてですが、「まち協」は 和坂校区連合協議会が発展的に解消して新しく生まれ変わった組織です。その目指すところは、校区にお住まいの皆様の豊かな生活、いつまでも住み続けたい町和坂を実現するために、「全ての人々が、知恵を出し協力し合って、全員参加によるまちづくり」にあると考えております。そのためには、「まち協」の運営は、校区の自治会をはじめ、高年クラブや子供会、その他の組織・団体全てと連携し、良好な関係を持つことが重要なことです。また、「まち協」の活動が、校区内にお住まいの方が真に望んでおられることとマッチする必要があります。

そのためには、毎月の定例役員会で集まる自治会長さんや関係団体の方が情報交換し、必要事項を吸い上げることで、まち協の活動を充実させていくことができると考えています。まち協には、5つの部があり、年間計画に基づいて活動しています。ここが、まち協の活動の中心的存在です。そこに住民の要望を反映させるシステムを構築することができれば、さらに活動を充実させることができます。さらに各部の活動の一つとして、各自治会の行事に協賛・協働の形でかわり、事業の拡大を図っていくのも妙案ではないかと考えます。

こうしたことを実現していくために、推進員増員と組織の活性化、機能の強化が必要です。要は、やる気を持って創意工夫に専念すれば、そこに一体感が生まれ、「まち協」運営は円滑に推進しうると信じております。

より良い「まちづくり」は、みんなの願い、労を惜しむことなく頑張る所存です。どうか、皆様方のお力をお貸しくださいますよう、よろしくお願いいたします。



雨によく似合う紫陽花 シャルマンコーポで見つけました。

### 2020年度 和坂校区まちづくり協議会 役員名簿

新年度の役員が決まりました。よろしくお願いいたします。

役職	氏名	所属団体
会長	岩崎 恵年	旭が丘自治会
副会長	久保登喜子	ボランティア和の会
〃	岩澤 平勝	西明石町連合自治会
幹事	茶谷 紀元	和坂自治会
〃	高橋喜美男	中和坂自治会
〃	成松 泰博	鳥羽町内会
〃	中野 勝広	ハイレジテンス西明石自治会
〃	山村 由佳	新和坂自治会
生活・安全部長	廣原とし子	まちづくり推進委員(新和坂)
環境・衛生部長	中屋 詳子	まちづくり推進委員(ハイレジ)
健康・福祉部長	安田 政義	地区社会福祉協議会
文化・交流部長	久保登喜子	ボランティア和の会
広報部長	加納 靖久	まちづくり推進委員(西明石町)
事務局長	入江 俊勝	西明石東町自治会
会計	成松 泰博	鳥羽町内会
会計監査	安田 政義	地区社会福祉協議会
〃	飯田 聡子	和坂小学校教頭
特別幹事	安藤 正昭	和坂小学校長
〃	松本 優子	和坂幼稚園長
〃	林谷 全晃	和坂こども園長
〃	脇野 多賀	かにがさか保育園長
〃	八杉 弘昭	鳥羽厚生館長

### 2019年度 和坂校区まちづくり協議会事業報告

日時	事業名	参加者	担当
4月 6日	2019年度会計監査	3	事務局
5月 7日	「買い物困難支援事業検討委員会」先進地域視察	5	事務局
5月19日	まち協総会	63	事務局
5月26日	体力測定	53	健康・福祉部
6月 9日	防災セミナー	98	生活・安全部
6月16日	ふれあい納涼祭事前説明会	42	文化・交流部
6月27日	わくわくわさか13号発行	63	広報部
7月 6日	ごみ減量推進協力員研修会	33	環境・衛生部
7月10日	林・朝霧校区広報部視察対応	10	広報部
7月14日	ごみポイ捨て防止運動	148	環境・衛生部
7月27日	ふれあい納涼祭	1200	文化・交流部
8月15日	精霊流し行事協力参加・甲池公園	9	環境・衛生部
8月23日	ふれあい納涼祭反省会	40	事務局
9月 7日	SC21 とまち協合同施設清掃	20	コミセン
9月 8日	防災講座「災害に備えて」	82	生活・安全部
9月16日	和坂校区敬老会	269	健康・福祉部
10月10日	わくわくわさか14号発行		広報部
11月24日	校区防災訓練	242	生活・安全部
11月29日	部門別報告会	38	事務局
12月 8日	左義長説明会	80	文化・交流部
12月20日	わくわくわさか15号発行		広報部
12月21日	SC21 とまち協合同施設清掃	15	コミセン
1月11日	左義長・もちつき大会	1200	文化・交流部
1月18日	買い物もんこカー出発式	22	事務局
1月25日	校区出前健診	61	健康・福祉部
2月25日	まちづくり講演会(竹の台地区)	22	事務局
3月15日	わくわくわさか16号発行		広報部

※街中探検ハイキング・バイオリンコンサートなど、3月から新型コロナウイルス感染拡大のために全ての活動が自粛になりました。

### 会長退任にあたってのお礼 茶谷 紀元

地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。5月のまち協総会も新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催することができず、書面決議という異例の状況になりました。



私ことと和坂校区まちづくり協議会の発足に伴い、会長という大役をおおせつかり、その任の重さに身の引き締まる思いをしたのは、ついこの前のことのように思い出されます。会長就任の3年間の間には、和坂校区連合協議会から新まち協の発足への様々の取り組みや「ふれあい納涼祭」「校区敬老会」「ふれあいまちつき・左義長」の行事や各部会の取り組みを通して、まち協の取り組みを校区に定着させていくことができました。これも役員や校区の各自治会長様のご理解・ご協力の賜物と感謝申し上げます。この間の会長職を務めることができましたことに、心からのお礼と感謝を申し上げます。本当にお世話になりました。

最後になりましたが、和坂校区まちづくり協議会の4年目のスタートにあたり、新会長以下、新役員の皆様方のご尽力によって、「笑顔と希望のあふれる我が街」を目指した校区のまちづくりが前進することを願っております。新しい役員の皆様方、よろしくお願いいたします。今後は、まちづくり推進委員として、まち協の活動に参画していきたいと考えております。意を尽くしませんが、和坂校区の皆様方のこれからのご健勝を祈念しながら退任の挨拶とさせていただきます。本当に3年間、ありがとうございました。



## 所属自治会と町内会のコロナ禍における活動状況

新型コロナウイルス感染に伴い、4月には緊急事態宣言が発令され、外出自粛や人と出会う機会の8割削減など人が出なくて活動することの多いまち協や自治会・町内会の活動は、大きく制限されてきました。

まちづくり協議会では、2020年度総会は、書面決議となりました。構成員75名に議案書を配布して66名から回答を得て、各議案について承認を得ました。

活動が大きく制限されているなかで、三密を避けてソーシャルディスタンスを遵守した行動で日常が戻ってきています。今回、第二波の感染のおそれがあるなか、各自治会・町内会の様子についてまとめてみました。

### 和坂自治会

総会は未実施、書面決議を予定しています。活動計画は昨年度に準じて運営していく予定です。定例会は実施できていません。連絡事項は文書で対応予定。三役会は公民館で実施している。町内一斉清掃は秋に実施予定です。秋祭りは、林神社の意向もあるが、感染リスクを考えると自治会の参加は厳しいと思われる。

### 中和坂自治会

総会は4月に、新役員20名のみで実施。住民の健康づくりのために土曜日に和坂小の運動場を借りて、グラウンドゴルフを実施、旭が丘自治会と合同で実施しています。廃品回収は労力に見合わないので5月より中止しました。自治会入会者増やすことを考えています。現在まで、自治会諸活動を控えていましたが、再開の要請もあるので、役員会で協議予定です。役員会は、第三土曜日にマスク・手指消毒、窓全開、テーブル2名などの感染対策をして開催しています。

### ハイレジデンス西明石自治会

自治会の新年度は9月からなので、総会に関しては、この4・5・6月は動きがありません。今は、新役員の選出に取り組んでいます。現在、自治会の活動は自粛中です。4月からサロン活動も休止中です。集会室の利用もないようです。管理組合の会合は、三密・マスク・手洗い等のソーシャルディスタンスを守って開催しています。西明石連合自治会と一緒にしていた盆踊りも中止です。

### 西明石町連合自治会

総会は、書面決議で実施。自治会の諸活動は、見合わせ中。役員会は三密を避けるために部長会で代行。公民館は3月から閉館しているが、6月から段階的に再開。会議室や大広間、大きく人数制限。活動内容も、運動系・イベントは使用できない。防止対策は、コミセンの再開に示されているマスク・消毒・名簿記入などの基準を遵守している。盆踊り・バス旅行は中止。担当部でそれに代わる取り組みを企画していく予定。回覧板も月2回に限定。全て、感染状況を見ながら対応している。

### 鷹羽町内会

総会議案を全戸に事前配布し、意見や質問を受け付け終了しました。新旧の役員引継ぎ会を実施しました。八幡神社の夏祭り・夜店は中止、神社の茅の輪くぐりは実施予定です。秋祭りの「だんじり運行」も難しいのではないかと考えられます。5月に実施していたサマーフェスタは中止しました。4・5月使用を中止していた鳥羽家浦グラウンドは三密を避けることで、使用を再開しています。行事として一斉清掃は実施できました。町内の空き家の対策も必要になってきています。自治会として定例役員会は感染対策をしながら開催しているが、諸活動はコロナの動向を見ながら実施します。

### 旭が丘自治会

総会は三密を避けるため事前に議案書を配布し、書面決議を行いました。役員会は会長以下14名が不定期に開催しています。コロナ禍のため、自治会活動が大幅に制限されており、自治会一斉清掃は実施したものの、年末恒例の自治会員懇親会の開催は未定です。このような状況の中で、今年度の自治会費（月額200円）の徴収は取りやめました。

### 西明石東町自治会

コロナ感染拡大防止のため、4月定例役員会は2班に分かれて総会議案書を審議作成し、総会は書面決議に変えました。5月・6月の役員会を休会し、自治会だよりも発行しなかったため、6月7日実施の自治会一斉清掃の周知は町内放送で行いました。7月から定例役員会、ふれあいサロンを再開しますが、8月の盆踊り大会は休止します。今年度の自治会費（月額300円）については、徴収を取りやめています。

### 新和坂自治会

総会は事前に議案書を配布して決議を取りました。3・4月は活動停止。5月に役員会を開催して、対策を協議しました。夏祭りは中止です。お楽しみ会も中止です。現在、これらに変わるものを検討しています。集会所は人数を10人以下として三密を避けて利用できるようにしています。少人数でできる卓球などで利用しています。コースなどは利用できません。サロン活動も中止しています。今後の活動は、感染状況を見ながらというところです。

## 2020年度 和坂校区まちづくり協議会事業予定

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、4・5・6月の行事は、緊急事態宣言の発令や解除後の対応で、実施することができませんでした。

和坂小学校が6月1日から再開しました。コミセン利用やスポーツクラブなどの活動が感染防止対策を行いながら、16日から再開することができてきました。しかし、まち協の今年度の活動では、総会、体力測定、納涼祭、精霊流し、住民健診結果説明会（住民健康診断は2021年1月23日に実施）は中止になっています。第二波の感染のおそれもあり2020年度の事業予定につきましては、決まり次第連絡させていただきます。

## 2019年度会計決算及び2020年度会計予算

### 収入の部 自治会分担分 (単位:円)

項目	2019年度決算	2020年度予算	摘要
前年度繰越金	261,558	183,140	
自治会分担金	250,300	250,300	2503戸×100円
敬老会残金	53,323		
県民交流広場助成	810,000		
預金利子	5,022		
合計	1,380,203	433,440	

### 収入の部 市委託金 (単位:円)

項目	2019年度決算	2020年度予算	摘要
地域交付金	1,540,000	1,690,000	明石市コミュニティ推進課
敬老会特別委託金	300,000	300,000	明石市高年介護室
地域事務局費	4,100,000	4,100,000	人件費・備品費等
合計	5,940,000	6,090,000	

### 支出の部 自治会分担分 (単位:円)

項目	2019年度決算	2020年度予算	摘要
謝金	11,834		防災訓練講師お礼等
消耗品費	141,069	140,000	コサージュ等
印刷費	87,360		コピー・印刷代
通信費	250	1,000	郵送費
食糧費	9,600	10,000	合同清掃お茶代
交通費	44,000	40,000	会議出席
備品整備費	897,950		プリンター・レンジ等
負担金	5,000	5,000	西明石活性化協議会費
繰越金/予備費	183,140	237,440	
合計	1,380,203	433,440	

### 支出の部 市交付金分 (単位:円)

項目	2019年度決算	2020年度予算	摘要
生活・安全部	125,923	150,000	
環境・衛生部	137,410	150,000	
健康・福祉部	361,639	450,000	敬老会を含む
文化・交流部	646,776	750,000	納涼祭・左義長含む
広報部	143,581	150,000	わくわくわさか発行
本部費	424,671	190,000	
コミセン人件費	1,875,475	1,900,000	給与
コミセン備品	224,525	200,000	パソコン・掃除機等
事務局人件費	1,947,754	1,900,000	給与・労働保険
事務局備品	52,246	100,000	モニター台等
スクールガード		100,000	
学校開放		50,000	
繰越金/予備費	0	0	
合計	5,940,000	6,090,000	

## わがまち歩けば・・・こんな景色もみられます！



水田風景（和坂2丁目）



新しい住宅地（和坂3丁目）

## 編集後記

新型コロナウイルス感染拡大によって、今までの日常が大きく変わりました。三密を避ける、ソーシャルディスタンスなる言葉が出てきました。緊急事態宣言など厳しい状況も乗り越えました。第二波のおそれもあります。収束までの道のりはまだまだのようです。毎日の報道に、世の中どうなるのだろうかかと心配な日々が続いています。今回の広報紙は、予定されていた行事が中止になり、総会資料のお知らせが中心になってしまいました。今後も、行事の進捗状況を見ながら、紙面を編集していきたいと考えています。今年度もよろしくお願ひいたします。（広報部）  
加納・伊藤・有馬・中道